

今こそ身につけたい“教養”、 大人のためのWebマガジン「LINK@TOYO」

2020年10月、本学のWebメディア「LINK UP TOYO」をリニューアルし、より多くの方に役立つ情報を提供する「LINK@TOYO」を公開しました。

LINK@TOYOは、総合大学である本学ならではの幅広い研究と、個性豊かな在学生・卒業生による活動などを通じて、暮らし・ビジネス・社会問題・スポーツ・芸術などあらゆる“教養”の獲得を後押しするWebマガジンです。



▼ What's New

LIFE インターネットの発展とともに変わる著作権。私たちがいま知るべきルールとは

法学部法律学科 安藤和宏教授

SOCIAL 私たちの生活を支える中小企業と社会の深いつながりを学ぶ

経営学部経営学科 山本聡教授

LIFE 家族社会学の研究者が語る、時代とともに変わる「家族」のかたち。

社会学部社会学科 西野理子教授

LIFE カギは「乳酸菌」。微生物がもたらす豊かな食生活と健康とは

生命科学部応用生物科学科 三浦健准教授

<https://www.toyo.ac.jp/link-toyo/>



就職・自立支援の“今”をお届け 『自立への道』

就職・キャリア支援部から保護者の方に向けた本学の就職・自立支援の情報誌を年3回発行しています。最新の採用状況など進路選択に役立つ情報をお届けします。最新号は「内定状況一覧」を掲載。本学Webサイトよりご覧いただけます。

<https://www.toyo.ac.jp/academics/career/parental/>



大学生活に役立つ情報が満載 学報バックナンバー

学報のバックナンバーは、本学Webサイトでご覧いただけます。

<https://www.toyo.ac.jp/about/gakuhou/>



TOYO UNIVERSITY NEWS -English Edition-

The English edition of TOYO UNIVERSITY NEWS is available on the University's official website. To read the English edition, access the web page below.

<https://www.toyo.ac.jp/en/about/gakuhou/>



東洋大学教育・研究協力資金 ご支援のお願い

東洋大学では、日本および世界の将来を見据え、先進的な知的拠点の確立を目指すとともに、国際社会で活躍できる人材育成に取り組んでおります。そこで、本学の教育・研究協力資金のご支援をお願いするための情報発信を行う本学Webサイトを公開しています。詳細は右記URLからご覧ください。 <https://kifu.toyo.ac.jp/>



発行日/2021年3月8日
発行/東洋大学
編集/総務部広報課
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
TEL 03-3945-7571
URL <https://www.toyo.ac.jp> E-mail mlkoho@toyo.jp

次号の発行予定は、2021年4月です。(Webサイトで公開予定)

TOYO UNIVERSITY NEWS

Mar. 2021 No.261

TOYO UNIVERSITY NEWS

東洋大学報

Mar. 2021
No.261

新時代の「福祉」「デザイン」「スポーツ科学」の拠点 赤羽台キャンパス新校舎完成

風化させない震災の記憶

3.11 東日本大震災から10年





CONTENTS

表紙&巻頭ページの写真：
赤羽台キャンパス WELLB HUB-2

TOYO UNIVERSITY NEWS
-English Edition-

The English edition of TOYO UNIVERSITY NEWS is available
on the University's official website.
To read the English edition, access the web page below.

<https://www.toyo.ac.jp/en/about/gakuhou/>



04 | 新時代の「福祉」「デザイン」「スポーツ科学」の拠点
赤羽台キャンパス新校舎完成

08 | 風化させない震災の記憶
3.11 東日本大震災から10年

10 | Professor's Scoop
社会学部 社会福祉学科 教授
森田 明美

12 | 第97回箱根駅伝
往路第2位・総合第3位
全ての人への感謝を胸に
成長したチームで力走

14 | Alumni Report
陸上競技部長距離部門OB 対談
服部 勇馬選手 × 相澤 晃選手

16 | Progress 未来へはばたく在学生
総合情報学研究科
総合情報学専攻 博士後期課程 1年(藤本研究室)
渡邊 夢良己さん

18 | 第34回(2020年度)
現代学生百人一首
入選作品の紹介

19 | NEWS

22 | INFORMATION



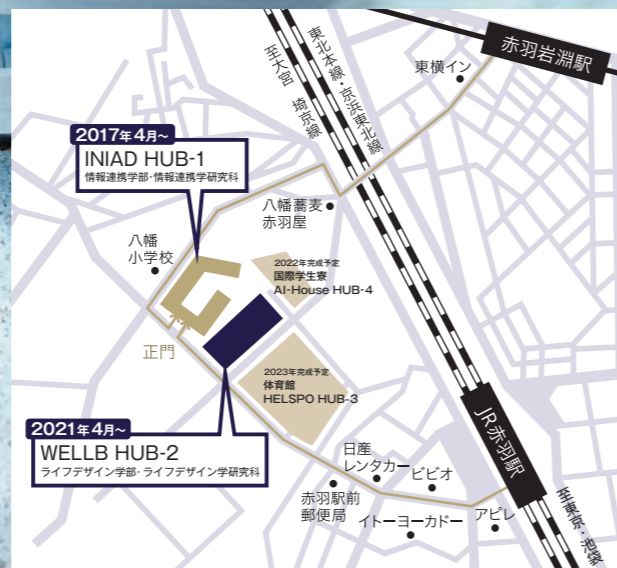
新時代の「福祉」「デザイン」「スポーツ科学」の拠点

赤羽台 キャンパス 新校舎完成

WELLB HUB-2

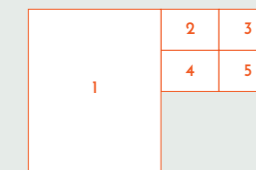
2021年4月よりライフデザイン学部とライフデザイン学研究科の新たな学びの場となる、地下1階・地上9階建ての新校舎「WELLB HUB-2」が完成しました。「WELLB」の由来である「well-being (ウェルビーイング)」は、心身ともに健康で健やかな状態にあることを指し、その実現に向けた教育・研究の拠点という意味を込めています。

建築設計は、2017年に竣工した「INIAD HUB-1」や新国立競技場などを手掛けた隈研吾建築都市設計事務所が担当。「つなぐ」をテーマに、地域社会との連携を図りながら社会問題の解決・明るい未来の創造を目指します。



WELLB HUB-2 フロアガイド

9F	研究室 / 実習指導室 / 学習指導室 / 実習面談室 / 学習指導室(生活支援) / 共同研究室(生活支援) / 学習指導室(子ども支援) / 共同研究室(子ども支援) / 大学院生共同研究室(子ども支援学) / 資料室
8F	研究室 / 学習指導室(健康スポーツ) / 共同研究室(健康スポーツ) / 大学院生共同研究室(高齢・障害) / 大学院生共同研究室(健康スポーツ)
7F	研究室 / 学習指導室(人間環境デザイン) / 共同研究室(人間環境デザイン) / 共同研究室(人間環境デザイン・助手) / 大学院生共同研究室(人間環境デザイン) / 会議室
6F	介護実習室・準備室 / 入浴実習室 / 更衣実習室 / 女子更衣室 / 男子更衣室 / 音楽実習室 / 小音楽実習室・準備室 / 心理相談実習室 / 保育実習室・準備室 / 調理実習室 / 多目的室(家政・図画)・準備室 / ピアノ練習室
5F	講義教室 / 健康スポーツ学実習室・準備室
4F	講義教室
3F	講義教室 / PC教室 / 学生ホール / 会議室 / ECZ・ラーニングサポートセンター / 就職・キャリア支援室 / ヘルプデスク(情報教育支援室) / 教職支援室 / 図書館 / 講師控室
2F	講義教室 / アトリエ / 講評室
1F	受付(警備室) / 赤羽台事務課 / 食堂 / 医務室 / 応接室 / 会議室 / 学部長室 / 学生相談室・ピアサポート室 / 学習印刷室 / 日本学生支援機構奨学金相談室 / 多目的ロビー / 実験工房 / 制作工房



- JR赤羽駅から続く坂道を抜けた緑道にある正面エントランス付近は、近隣住民の方にも開かれた「まちかど広場」となっています。
- 3階には、学生ホールや図書館、就職・キャリア支援室、ECZ・ラーニングサポートセンター、教職支援室などの施設があり、多くの学生たちが交流する場所となります。
- 2階から1階にかけて立体的に3方向へと広がる屋外の大階段「トポテラス」。WELLB HUB-2の特徴の一つで、多方面への動きを可能にした構造です。
- 上層階へ行くにつれてせり出す構造と、アルミ素材のメッシュ状の底やスクリーンには、直射日光をやわらげる効果があります。環境面に配慮した優しい設計の校舎です。
- 1階エントランスホールから5階まで続くエスカレーター部分は吹き抜けとなっており、開放感のある空間となっています。上下移動の手段は、エレベーターとエスカレーター、階段と充実しています。

つながる赤羽台キャンパスの未来

赤羽台キャンパスの教育・研究環境は、米年度以降も段階的に拡充していきます。



6	7
8	9
10	11

6・7 生活支援学のより実践的な学びを可能とするために、介護実習室、調理実習室、心理相談実習室など実際の施設を再現した実習室が6階フロアに集結。子ども支援学で使用する保育実習室にはウッドデッキのテラスが設けられています。

8・9 人間環境デザイン学を学ぶ学生が使用する実験工房と制作工房。広いワークスペースのほか加工室や塗装室・乾燥室など創作を行うための充実した部屋が並びます。演習や展示・講演会のスペースとしても使用される1階中央部分の床には、長さや距離感覚を養うための1,000mmと900mm四方のラインが引かれています。

10・11 各階にあるフロアマップや案内サインなど、さまざまな箇所で木材を使用。温もりのある空間を演出しています。

国際学生寮 AI-House HUB-4

2022年4月
完成予定

地上5階建て、学生約300人収容可能な国際学生寮「AI-House HUB-4」がキャンパス内に誕生予定。「AI」は、「会い」「合い」「間」「藍」「愛」「哀」などさまざまな意味を含み、ここでさまざまな学生が出会い、異文化を感じ、学びながら、愛すべき生涯の友情が生まれ、退寮するときには互いに哀しみ合う、そのような多くの意味を込めています。約半数は外国人留学生の入居となる予定で、さまざまな国の学生とともに暮らすことで、日本にいなながら豊かな国際感覚を養う一大拠点となります。

体育館 HELSPO HUB-3

2023年4月
完成予定

今後、WELLB HUB-2とガラス張りのブリッジでつながる「HELSPHUB-3」。「健康スポーツ科学部」* = Faculty of Health Sports Science が由来であり、アジアにおける教育・研究の拠点を目指す、という意味を込めています。2023年4月開設予定の福祉社会デザイン学部(仮称)*と健康スポーツ科学部(仮称)*が学ぶ新校舎と体育館で構成され、福祉・デザイン・スポーツ科学の面から少子高齢化や健康問題などの社会課題の解決にも取り組みます。

*2021年3月現在設置構想中。学部名称は仮称であり、計画は変更となる可能性があります。

風化させない震災の記憶

3.11 東日本大震災から10年

2011年3月11日に発生した東日本大震災から今年で10年を迎えました。
過去にない甚大な被害をもたらした大震災を、節目のこの年に振り返ります。



東日本を襲った巨大地震

2011年3月11日、14時46分。宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmを震源とした東日本大震災が発生しました。地震の規模を表すマグニチュードは9.0、最大震度7。日本周辺における観測史上最大で、およそ10万km²の広大な範囲が震源域になるなど、誰も経験したことのない大地震でした。この地震により最大遡上高40mにも上る巨大な津波が発生。太平洋側の沿岸部の町は濁流に飲み込まれ、津波の直撃を受けた福島第一原子力発電所における原発事故は現在も解決できないまま、近隣地区での居住制限や汚染水の処理問題などの大きな問題を残しています。

地震とそれに伴う津波・火災の被害を受けた町では、ほとんどの建物・家屋が破壊され、交通網や水道・電気といったライフラインが遮断。多くの日常が奪われ、たくさんの人々が避難所や仮設住宅に住むことを余儀なくされました。建物倒壊は約12万戸が全壊、死者数は19,729人を数え、今もなお2,559人の方が行方不明と、未曾有の災害であったことを物語っています。

地震の影響は東北地方のみにとどまらず、首都圏都市部でも震度5強を観測。地震直後は電車の運行が止まり帰宅困難者が多数発生。建物の倒壊や液化現象などインフラに甚大な被害がありました。さらに国内の原発の運転停止により電力供給危機に陥り計画停電の実施、多くの活動やイベントが延期・自粛されるなど日本の社会活動全般にも多大な影響を及ぼしました。また、教育の現場でも被災した学生の全国への転入や休学措置、大学入試での措置や学生生活支援など、特別な対応がとられました。

※数字は復興庁『東日本大震災からの復興の状況と取組』2020年9月版より



写真:AFP/アフロ



写真:読売新聞/アフロ

震災後、本学の取り組み

震災発生時、本学は春季休暇中でしたがキャンパスには多くの人がありました。交通機関の停止により帰宅が困難となった学生・教職員約850名が学内でその夜を明かしました。翌12日より学生の安否確認を開始。帰省先で被災した学生もおり、全員の無事が確認されるまでに約1か月を要しました。その後も相次ぐ余震や社会情勢から、3月23日の卒業式は中止に。復興に向け、少しずつ日常を取り戻すことを目指し、4月6日に入学式を挙行、新学期をスタートさせることができました。

3月30日には教育・研究機関として蓄えた「知」による貢献を行うべく、東日本大震災復興問題対策チームを結成。各分野の専門教員が12のグループであらゆる角度から支援に携わる活動を開始しました。また、さまざまな情報が錯綜し漠然と不安を感じる社会に対し、正しい認知と理解の一助となる情報発信にも注力。エネルギー問題や放射線に関する基礎知識、防災と安全対策などをテーマに緊急シンポジウムを開催しました。原発避難や自宅損壊などの被害を受けた学生には納付金の減免、支払期間の延長など直接的な支援を行うほか、復興の力になりたいと願う学生たちに向け、学生ボランティアを派遣する「東北応援プロジェクト」をスタート。ボランティア期間中は授業を公欠扱いとし、ボランティア助成金制度を創設するなどのサポートを続け、2019年度*までにのべ2,248名の学生を派遣しています。

東日本大震災でのこれらの経験から、本学では災害発生時の迅速な支援活動を行う体制を構築。2016年の熊本地震や2018年の7月集中豪雨などでの復興支援にいかされています。

※2020年度は新型コロナウイルスの影響で派遣を休止



「震災、10年～next decade for sustainable society～」

シンポジウムを中心に、
震災を振り返る企画を実施

2021年2月20日には学生たちが「東日本大震災～復興支援10年の今～」と題したシンポジウムを開催しました。第1部では山田町に自習室「ゾンタハウス」を設立し、2011年より地域の子どもたちへの支援活動を続けてきた社会学部社会福祉学科・森田ゼミの現役学生と卒業生、山田町の人々をオンラインでつなぎ、映像とともにそれぞれの立場で想いを語りました。第2部では本学の学生と甚大な被害を受けた宮城県南三陸町出身の若者たちが、震災10年が経過したこれからの復興支援や防災についてディスカッションを行いました。このシンポジウムのほかにも、ボランティア支援室による震災から10年を振り返る企画が開催されました。

「震災、10年～next decade for sustainable society～」企画一覧

いずれもオンラインにて開催

- 「東日本大震災より10年を振り返る」シンポジウム
- 本学学生と現地の若者による南三陸町での支援活動の10年を振り返る
- ボランティアカフェー東北編ー
「あなたとわたしの3.11～これまでとこれから～」
- 「避難所運営ゲーム」のオンライン体験ワークショップ

次のページでは、今回のシンポジウムを含め本学の震災支援の先頭に立ってきた社会貢献センター長を務める社会学部の森田明美教授に、震災後の活動やそこから見えたもの、私たちにできることなどをお話いただきました。



災害を経験した子どもたちに必要な支援について、森田教授に伺った特集記事をWebメディア「LINK@TOYO」にて公開中です。

LINK@TOYO

検索



Professor's Scoop

学問の領域は広く深く、日々進化しています。

本学の教育・研究を担う教員の目に、世界はどのように映るのか。

児童福祉を専門とし、東日本大震災発生以降もさまざまな支援・活動を行ってきた社会学部の森田明美教授にお話を伺いました。

社会学部 社会福祉学科 教授
社会貢献センター長

森田 明美

Profile

東洋大学社会学部社会福祉学科教授、社会貢献センター長。専門は子どもの権利を中心とした児童福祉学。日米の共働き、シングルマザー・ファーザー、10代の母親など子育て家庭の実態と、保育所・幼稚園、児童館などによる子育て支援に関する実証的研究を行い、東日本大震災以降は被災地の中高生を支援する活動を続けている。NPO法人こども福祉研究所理事長、東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長も務める。



<サマーレスバイトデイズ>



<山田町ソントハウス>

被災者に寄り添い 支援を進めてきた10年。

東日本大震災発生からの10年。東洋大学はこの間、あらゆる角度から被災者支援を続けてきました。発生直後から被災した在学生や家庭に向けた経済的な支援や、大学の「知」をいかすべく対策チームを発足し、各教員が持つ専門性に基づく支援活動を開始。また、「東北応援プロジェクト」と称し、多くの学生やゼミ、学生団体が清掃活動などをはじめとしたボランティア活動をしてくれました。

私自身は児童福祉を専門にしており、被災した子どもたちの支援を続けています。子どもの権利を基盤とした支援の展開をするため、支援活動に取り組むNPO・NGOをまとめる「東日本大震災子ども支援ネットワーク」を立ち上げるなど、学生とともにさまざまな活動に取り組んできました。岩手県下閉伊郡山田町では中高生を対象にした軽食付きの自習室「山田町ソントハウス」の設立・運営や、福島県ではひとり親家庭の子どもたちを本学のセミナーハウスに招き、思い切り遊んでリフレッシュしてもらう「サマーレスバイトデイズ」を実施。被災地で、友達や家族と遊ぶ時間も場所もない子どもたちが本学の学生と触れ合い、心を開いてくれる様子は印象深いものでした。

一人にしない。 語ることが前を向く力になる。

支援活動で最も大切なことは「誰一人として一人にしないこと」です。震災で体験したことは、想像をはるかに超えるつらいものです。東日本大震災は日中に発生したため、家族もバラバラの場所で被災しそれぞれに体験が異なります。家族にすら共感してもらえない、できない。だからこそ、まず「ただそこに一緒にいること」がとても大切です。悲しい時は寄り添い、楽しい時は一緒に笑ってくれる。そんな日常に安心し、感情が整理できて、初めて人に語れるようになります。

例えば、先のソントハウスではボランティアの大学生は入れ替わりで数日しか滞在しません。それでも子どもたちが「〇〇さんいる?」と会話を楽しみに訪れました。なかには別れを惜しんで泣いてしまう子も。年の近いお兄さん、お姉さんだから心も開きやすいのでしょう。そうした関係性は、凄惨な災害が残した心の傷に深く寄り添うものだと実感しています。誰かが寄り添ってくれて、自分の体験や苦しさを共有してくれることは大きな自信に繋がります。語ることで未来を生き抜く力が育ち、それは復興を担う大きな力にもなるのです。

未来を担う力が 着実に動き始めている。

これまで日本では災害支援を考える際に、子どもの権利の視点はあまり重要視されていませんでした。しかし、大きな災害時こそ子どもが理解できるように説明し、状況を共有し、解決策と一緒に考えて進めていくことが大切なのです。子どもたちは精神的に未熟な段階で、苦しい記憶の整理もままならず、どうして自分が悲しいのかまだ理解できない。この問題を整理できずに大人になると、ふとした瞬間に記憶がよみがえり、塞ぎ込んでしまったり、生きる希望を見いだせなくなるのが現実起きています。

しかし、信頼できる人に出会い、支えられた人は考え、動き出します。2016年にはソントハウスを利用していた高校生が、支援の恩返しをしたいとハウス内に自ら企画・運営するカフェを開き、地元の人たちとの交流の場をつくるなど、支援を受けたことがきっかけとなり新しい動きが生まれました。また、震災自体を風化させないように、大学生や社会人になった当時の子どもたちが故郷へ戻り「語り部」になるといった事例も増えてきました。この10年で成長した人々が何を掴み、行動に移したか。私たちは知り、そこから学ぶことができる節目の10年になったと思います。

これからの10年で 私たちにできること。

私たちは首都圏で生活をしていると東日本大震災を東北地方で起きた出来事だと認識し、自分には関係の薄いものだと考えてしまいがちです。しかしあの日に東北で大震災を経験した学生や子どもたちは、現在は地元を離れて進学したり、社会へ出たりと、全国各地で新たな暮らしを歩み始めています。あなたのクラスメイトやサークルなどで知り合った仲間たち、バイト先の同僚など身近な人たちの中にもこの震災を東北で経験した人がいるかもしれない。そして、いまなお苦しみを抱えている可能性もあるのです。

もし、あなたの周りでそうした人が居た時には「きつとつらい記憶だから触れないでおこう」と思わず、そっと寄り添ってあげてほしいと願います。身近な一つの手段として、震災を振り返った想いをSNSなどでつづるのもよいでしょう。少しの心配りが「話してみよう」と誰かの背中を押し、人生を支えるきっかけになるかもしれません。日本が自然災害の多い国であることは変えたい事実です。この先、自分自身が被災する可能性もあります。そうした時、誰かの支えとして寄り添った経験は、いつか自分自身を強く保つことにもいかされるでしょう。

コロナ禍により沿道での応援自粛が求められ、例年とは異なる雰囲気で開催された第97回箱根駅伝。

往路では、花の2区を松山和希選手(1年)が初出場ながら区間4位の好走で順位を押し上げる良い流れをつくり、昨年に続き山登り5区を走行した宮下隼人選手(3年)が3人を抜き去る力走で、首位と2分14秒差の2位でゴールした。翌日の復路は、当日変更で出走した西山和弥選手(4年)を除く4選手が、箱根駅伝初出場という布陣。一時順位を4位まで落とすも、最終10区では3位で襷を繋ぎ、アンカーの清野太雅選手(2年)が粘りの走りを見せ、総合3位を勝ち取った。前大会では厳しい結果となったが、1年で再び上位の座に返り咲いた。



2021年1月2日・3日
第97回箱根駅伝

往路第2位・総合第3位

全ての人への感謝を胸に
成長したチームで力走

区間	区間距離	選手	所属	タイム	区間順位	総合順位	写真
1区	大手町-鶴見 21.3Km	児玉 悠輔	経済学部経済学科 2年	1:03:24	9位	9位	
2区	鶴見-戸塚 23.1Km	松山 和希	総合情報学部総合情報学科 1年	1:07:15	5位	4位	
3区	戸塚-平塚 21.4Km	前田 義弘	経済学部経済学科 2年	1:03:55	5位	8位	
4区	平塚-小田原 20.9Km	吉川 洋次	ライフデザイン学部健康スポーツ学科 4年	1:03:39	5位	6位	
5区	小田原-箱根町 20.8Km	宮下 隼人	工学部電気電子情報工学科 3年	1:12:09	2位	3位	
6区	箱根町-小田原 20.8Km	九嶋 恵舜	経済学部経済学科 1年	1:00:05	4位	14位	
7区	小田原-平塚 21.3Km	西山 和弥	総合情報学部総合情報学科 4年	1:04:54	4位	12位	
8区	平塚-戸塚 21.4Km	野口 英希	工学部機械工学科 4年	1:04:15	3位	2位	
9区	戸塚-鶴見 23.1Km	小田 太賀	経済学部経済学科 4年	1:10:08	3位	7位	
10区	鶴見-大手町 23.0Km	清野 太雅	経済学部経済学科 2年	1:11:12	3位	9位	

総合成績

1位	駒澤大学	10:56:04
2位	創価大学	10:56:56
3位	東洋大学	11:00:56
4位	青山学院大学	11:01:16
5位	東海大学	11:02:44
6位	早稲田大学	11:03:59
7位	順天堂大学	11:04:03
8位	帝京大学	11:04:08
9位	國學院大学	11:04:22
10位	東京国際大学	11:05:49

酒井 俊幸監督コメント

箱根駅伝を振り返って

このような状況下でも大会開催にご尽力いただきました全ての皆様、沿道観戦を控えてご自宅で応援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で寮が閉鎖。チームを一時的に解散をする期間がありました。全部員が帰寮することは叶いませんでしたが、段階的な帰寮後に全体練習を再開し、制限のある環境下においても学生たちは頼もしく成長を遂げてくれました。

前大会は3区間で新記録と区間賞2つを獲得しながら、10位に沈んでしまう結果となってしまいました。一部の選手やエースに依存していた傾向を見直し、他人事にならずに一人ひとりが使命感、責任感を持って「自律と自立」をテーマに取り組んできました。今大会では区間賞は獲得できませんでしたが、接戦の場面で簡単に抜かれない粘り強い走りや、1秒をけずりだす走りを体現することができたと思います。

この1年で3位以内の位置に戻れたことは、駅伝経験者以外の選手やサポートの部員も含めてチーム全員が大きく成長できた証ではないかと思えます。次回大会に向けて部員、スタッフとさらに成熟したチームを目指して歩んでいきます。今後とも宜しくお願いいたします。

写真提供 / 関東学連

Special Interview OB・OGの今

Alumni Report

トヨタ自動車株式会社 陸上長距離部

服部 勇馬 はっとり ゆうま

Profile

2016年、経済学部経済学科卒業。本学陸上競技部在籍中は、大学三大駅伝で5度の区間賞を獲得し、4年時には主将を務めた。現在はトヨタ自動車株式会社 陸上長距離部に所属。2019年9月のマラソングランドチャンピオンシップ (MGC) では、2位となり東京オリンピック出場権を獲得した。マラソン最高記録2:07:27 (日本歴代14位)。



旭化成株式会社 陸上部

相澤 晃 あいざわ あきら

Profile

2020年、経済学部経済学科卒業。本学陸上競技部4年時には主将を務め、大学三大駅伝全てで区間新記録を樹立し、金栗四三杯を受賞。現在は旭化成株式会社 陸上部に所属。2020年12月に行われた日本陸上競技選手権大会 男子10,000mでは日本新記録(27:18.75)で優勝を果たし、東京オリンピック出場権を獲得した。

大学時代からの目標だったオリンピック出場 内定を得た今、さらなるレベルアップを目指す

東京オリンピック 出場内定を勝ち取って

服部：東京オリンピック、男子1万mの内定おめでとうございます！
相澤：ありがとうございます！去年一番の目標だったので達成できてうれしいです。

服部：今年度は社会人1年目で、しかも新型コロナウイルスの影響もあって練習するのが大変だったと思うけど、軌道に乗ってきたのはいつから？

相澤：夏ごろからです。大学の時は駅伝を目指しての練習でしたが、去年はトラック中心の練習に切り替えました。チームメイトも実力者ぞろいなので普段からレベルの高い練習を積むことができました。11月に1万m27分台を出し自信がついて、そのまま日本選手権に臨み、日本新記録で内定を勝ち取ることができました。

服部：レース前から勝てると思ってた？

相澤：ベストを尽くせればという感じです。8,000mまでいかに粘れるかが勝負だと思っていましたが、序盤のキツイところをうまく粘り、最後まで集中して走ることができた会心のレースでした。

服部：(27分)18秒はすごい記録。スピードを強化したの？

相澤：はい。トラックでのスピード練習に取り組み、速いペースへの恐怖心がなくなったのが大きかったです。勇馬さんも去年、同僚のカロキ選手とスピード練習をされていましたよね？カロキ選手が「最初から速いペースでやらないと」と勇馬さんを激励されているのを見て、その通りだなと思いました。

服部：かなりキツかったけど、そのおかげで僕もマラソンに対応できるスピードが身についたと思う。あとはスタミナ面に重きをおいて、ケガしないよう練習ボリュームを考えながら、本番までトレーニングしていくつもり。

相澤：少し前の話になりますが…、やっぱりMGCは特別なレースでしたか？

服部：自分にとっては、この結果で人生が変わるレースだと思ってた。妥協せずにしっかりと練習をしてきたからこそ絶対に2位までに入ると強い気持ちを持って挑んだよ。

相澤：終盤の大道選手との競り合いは見ていて興奮しました。

服部：先行していた大道さんと並んだ時に、彼が振り向いたのを見て、おそらく苦しい合図だと。そこから強気になって、一気に攻めることができた。

相澤：結果はオリンピック内定。改めておめでとうございます。

服部：ゴールした時はうれしいというより安堵の気持ちが大きかったかな。でも数日後に優勝できなかった悔しさが出てきて。今もまだ悔しいよ。

大学時代から世界を意識 東洋大学を背負って戦う

相澤：勇馬さんは大学時代からマラソン転向とオリンピック出場を公言していましたよね。

服部：うん。特に酒井監督から世界に目を向けるよう指導いただいたのは大きかったと思う。周りに別種目だけどオリンピック

出場者もいたしね。社会人になって苦労した時には、酒井監督に相談に乗っていただいたり。MGCの結果を報告した時も「ここから勝負」と発破をかけられた。声はうれしそうだったけど(笑)。相澤も大学時代から世界を意識していた？

相澤：はい。僕も酒井監督から「先を見据えたレースをしろ」とずっと言ってもらっていて。今回も「今回の結果がゴールじゃない、オリンピックで結果を出して、またそれを最大の目標であるマラソンにつなげていこう」と言われて、酒井監督らしいなと思いました。

服部：それと、やっぱり東洋大学の陸上競技部長距離部門といえば「その1秒をけずりだせ」。この言葉が心に刻まれているのは大きいよね。

相澤：僕にとっても大切な言葉です。

服部：レース終盤に頑張れるのは、学生時代からこの言葉を胸に頑張ってきたおかげ。走っていて一番つらい時に走馬灯のようによみがえってきて「大丈夫だ!」と自信をくれる。そして「もっと攻められる!」と奮い立たせてくれる。

相澤：日本選手権の時も、文字通り1秒でもけずりだしてゴールしようと思ったからこそ、標準記録を10秒近く上回ることができました。この言葉には日々の1秒を大切にしよう、という意味もあると思います。本番まで約半年ですが、1時間、1分、1秒を大切に過ごしていきたいと思っています。

服部：日本代表である前に、東洋大学代表でもあるので、内定を勝ち取れたのはひとつの恩返しになったと思う。でもこれで終わりじゃない。本番でもお世話になった皆さんに、感謝してもらえるような走りがしたいね。

目標が定まると 毎日が意味のある時間になる

服部：東洋大学で学んでいる後輩たちに伝えたいことは？

相澤：今は新型コロナウイルスの影響でやりたくても思うようにできないことがあると思います。僕もそうです。でも僕が大学4年の時にオリンピック出場という目標を決めたように、未来の目標を定めること自体は、今の状況でもできると思います。目標が決まれば、今はむしろ時間があるわけだから、しっかりと準備の時間に充てられると思います。

服部：確かに。

相澤：逆に目標がなければ、たとえ新型コロナウイルスが収束しても、そのままダラダラと時間を費やすことになってしまう。つまり今は人生をどのように過ごすかを考える“分岐点”なんじゃないかと思います。

服部：学生時代に過ごした時間は、人生の糧であり財産になると僕も思う。大学に行けなかったり、友達と会えなかったり悔しい時間が多いと思うけど、悪いことばかり考えず、自分の未来をみつめてほしいし、少しでもポジティブな時間をつくって、日々の行動を選択しながら有意義に過ごしてほしいと思います。

取材日：1月中旬

Progress

未来へはばたく在学生

東洋大学には学問・研究・スポーツ・ボランティアなど、多彩な領域で活躍する学生がたくさんいます。今回は、飛び級制度を利用し大学院へ進学し、さらに博士前期課程を短期修了した渡邊 夢良己さんにお話を伺いました。

総合情報学研究所
総合情報学専攻 博士後期課程 1年
(藤本研究室)

渡邊 夢良己さん

総合情報学部3年時に
飛び級試験で大学院入試に合格
博士前期課程を短期修了
2019年7月の国際学会「IIAI-AAI2019」で
特別賞を受賞

*IIAI-AAI2019=8th International Congress on
Advanced Applied Informatics



好きなことを、好きなだけ研究できる場所。

学部時代は所定の単位数をあまり気にせず、少しでも興味のある講義は受講し、自分の世界を広げていました。しかし3年になり、就職活動を意識した時に、自分の知識の少なさ・未熟さに気づくと同時に「足りない」と強く感じるようになっていました。そんな考えを所属していた研究室の藤本貴之教授に相談したところ、飛び級制度の案内を受け、通常より1年早く専門的な学びを深めようとの制度で大学院への進学を決めました。

大学院では学部につき、同研究室に所属し、「デジタル」に「アナログ」の魅力を統合するというテーマで研究をしています。特に最近は、スマートフォンやタブレットなどで電子書籍を読む際に、めくる感覚や動作を実際の紙を用いて再現するデバイスの開発を進めています。私はアナログ派の人間なので、今でも紙の本をたくさん読みますし、自室には本やCDが数多く保管してあります。デジタル化が進む現代社会の中で、一つのものに対する愛着心が薄れているのでは？と疑問を感じていたので、現在の研究テーマは私の興味・関心と合致している上、自分の体験や感じたこと全てが研究につながっているからこそ、夢中になっているのだと思います。さらに、幸いにも私の周りにはテクノロジーに長けた方や柔軟な発想をする方が多くいるので、行き詰まっても必ずヒントや打開策を見いだすことができます。研究に没頭できる今の環境には感謝しかありません。



学ぶことへの挑戦と覚悟。

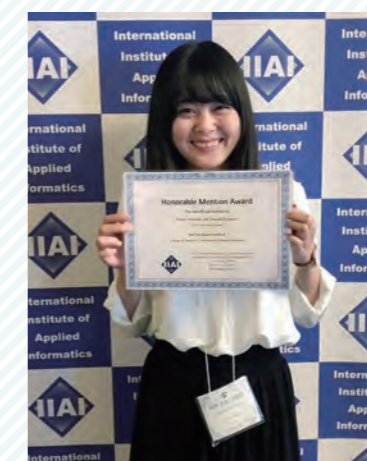
国際学会での発表など、新たな挑戦もしています。英語で会話はできて、説明となるとまた全然違うことを痛感しました。学会の場で研究内容について尋ねられた際に、第三者にわかりやすく、専門的に、かつ目上の方に失礼のない英語で伝えることは本当に難しいです。ただその一方で、全く知らない研究に触れたり、想像できない角度からの指摘をもらったりと、国際学会では参加する度に、とても新鮮で有意義な時間が過ごせています。

日々の研究では時に壁にぶつかったり、挫折を味わったりもします。大学院での経験は楽しいことばかりではありませんが、だからこそ身になるかどうかは自分次第だと強く思います。私は、自分の具体的な将来の職業を目標として定めていません。デジタルが進化した先にはどんな職業や生活があるのか想像することも難しい時代です。だからこそ今よりも知見を広げ、固まった考えに囚われず、どんな未来でも生きていける力を身につけたいと思っています。

今、この瞬間を100%楽しむ。



現在は大学院で研究の毎日ですが、もともと勉強が好きなわけではなく、高校は文系で芸術系の大学や就職を希望する人と同様の授業を選択していましたし、成績も良い方とは言えませんでした。ただ昔から知らないことを知った時の、視野が広がる感覚が好きで、知識欲は旺盛でした。家族の影響で幼い時から海外を含め遠出をすることが多かったこともあり、未知の世界を知る楽しさが原体験としてあるのかもしれない。特に父の「与えられた場を100%楽しみなさい」という教えが、夢中になったものに全力で突き進む私の性格につながっています。大学進学後は、高校までの「覚える勉強」とは異なる「知る学問」の面白さにのめり込んでいきました。



国際学会「IIAI-AAI2019」の「Honorable Mention Award」(特別賞)受賞時



研究室にはデータサイエンスやデザイン、哲学書まで幅広い分野の参考書がそろっています

現代学生百人一首

入選作品の紹介

本学創立100周年の記念行事として1987年より開始した「現代学生百人一首」。

毎年全国からたくさんの短歌が寄せられ、その年を象徴する出来事や学生の視点で日常を表現した作品などが多く見られます。

第34回の応募作品数は、65,499首でした。ここで入選作品100首の中から、15首の秀逸作品を紹介します。

家族	恋愛	季節・情景
<p>白秋忌祖母の歌ひし童歌 少し外れた音で覚えた (秋田県立秋田西高等学校2年 鈴木優羽さん)</p>	<p>「もう十分」余命半年微笑む祖母 あなたが良くても私は嫌だ (大阪府立港南造形高等学校1年 松田有加さん)</p>	<p>ダンボール開けると秋の味覚たち つめ込む祖父の笑顔が浮かぶ (神奈川県立葛城中学校3年 上野志織さん)</p>
<p>ふと香る蚊取り線香脳裏には あの穂やかな亡き祖父の笑み (江戸川学園取手中学校2年 塚本愛菜さん)</p>	<p>彼が打つボールは綺麗にゴールへと 私のハートに3ポイント (千葉県立葛城中学校2年 神原結奈さん)</p>	<p>秀逸作品の紹介</p>
<p>生き方を教えてくれたおじいちゃん 最後の教え人は死ぬこと (狭山市立堀兼中学校2年 相川海己さん)</p>	<p>待つ人がいるから毎日病院へ がんばる母にエールを送る (いすみ市立国吉中学校3年 石井美咲さん)</p>	

学校生活・友人	自分・日常	社会・時事問題	進路・未来
<p>歓喜の輪ハイタッチじゃなくヒジタッチ 新しい日々始まる一歩 (専修大学附属高等学校2年 伊藤諒哉さん)</p>	<p>学校のリモート授業寝落ちして 起きたら画面に僕しかない (西武学園文理中学校3年 村上麟太郎さん)</p>	<p>七枚に大阪なおみの強い意志 優勝で示す命の在り方 (国分寺市立第五中学校3年 藤原春歩さん)</p>	<p>プラトンもアリストテレスも教えては くれない進路も君の気持ちも (茨城高等学校1年 石川櫻子さん)</p>
<p>黒色のマスクで四つの感情を 隠していれば友達のまま (東京学館新潟高等学校2年 金子優斗さん)</p>	<p>気づいたら手に入れていた選挙権 高校生が世を変えられる (福島県立平工業高等学校3年 小松慎太郎さん)</p>	<p>痩せていくホッキョクグマを思い出し レジ袋からエコバッグへと (西東京市立青嵐中学校2年 尾藤咲良さん)</p>	

お知らせ

第34回「現代学生百人一首」編纂冊子完成

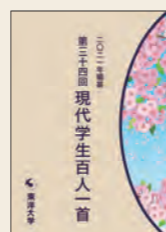
入選作品100首と小学生の部入選作品10首、日本語学校・海外協定校で学ぶ学生の優秀作品5首を収録した編纂冊子が完成しました。ご希望の方には、送料のみのご負担でお送りしています。また、東洋大学各キャンパスでも配布しています。詳しくは下記Webサイトをご覧ください。

▶<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/issyu/booklet/>

お問い合わせ先 東洋大学広報課 TEL: 03-3945-7571

現代学生百人一首冊子

検索



◆「現代学生百人一首」Webサイト

過去の入選作品や募集要項、各種お知らせを掲載しています。▶<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/issyu/>

現代学生百人一首

検索

体育会各部活動報告

■ サッカー部男子部・女子部から 8選手がプロ・アマサッカークラブに内定

本学のサッカー部男子部から4名、女子部から4名の計8選手がプロ・アマサッカークラブと契約し、2021年シーズンより加入することが決まりました。新たなステージで活躍する姿にご期待ください。



板倉 洸選手
国際観光学部
内定先:
ヴァンラーレ八戸
(J3リーグ)



市原 亮太選手
国際観光学部
内定先:
FC今治
(J3リーグ)



桑原 遥選手
国際観光学部
内定先:
UD Llanera
(スペイン/
テルセーラリーグ)



土田 直輝選手
国際観光学部
内定先:
ウェルスパ大分
(日本フットボールリーグ)



大内 梨央選手
食環境科学部
内定先:
サンフレッチェ広島
(WEリーグ)



久保 真理子選手
食環境科学部
内定先:
大宮アルディージャ
VENTUS
(WEリーグ)



常田 麻友選手
食環境科学部
内定先:
伊賀FCくノ一三重
(なでしこリーグ1部)



常田 菜那選手
食環境科学部
内定先:
伊賀FCくノ一三重
(なでしこリーグ1部)

■ 白井璃緒選手、酒井夏海選手が計4レースで1位獲得 大奮闘の第96回日本選手権水泳競技大会

開催を予定していた2020年4月から延期となっていた第96回日本選手権水泳競技大会が、2020年12月3日～6日に行われました。会場は東京五輪の会場予定地でもある東京アクアティクスセンター。本学の水泳部は、2日目の女子200m自由形で白井璃緒選手(国際観光学部国際観光学科3年)が1位を獲得すると、女子100m背泳ぎでも酒井夏海選手(法学部企業法学科1年)が1位に輝きました。両選手の活躍は止まらず、3日目の女子100m自由形でも酒井選手が1位、4日目の女子200m背泳ぎでは酒井選手が1位、白井選手が2位とワンツーフィニッシュ。加えて、3位入賞や自己ベストを更新する選手もあり、4日間の大会を通して本学水泳部の強さを示す結果となりました。



白井 璃緒選手



酒井 夏海選手

写真: 大内翔太/フォート・キシモト

■ 陸上競技部女子長距離部門が 2020全日本大学女子選抜駅伝競走にて健闘

2020年12月30日に2020全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)が開催され、本学を含む21校が出場しました。コースは、静岡県富士宮市と富士市を結ぶ富士山麓の高低差174mに及ぶ起伏にとんだ7区間(43.4km)。最終7区は大会名物でもあり、襷を受けた3km過ぎから厳しい上りが続き、他に類を見ない過酷な区間となっています。チームは過去最高順位の8位以内の入賞を目指して力走し、6区で下里芽依選手(食環境科学部食環境科学科1年)が区間9位の走りを見せるも、結果は惜しくも13位に。沿道からの応援が自粛される中、SNSを中心とした多くの声援を力に変え健闘しました。



6区 下里 芽依選手

2020年度 英語スピーチコンテストと 日本語プレゼンテーションコンテストで語学学習成果を発表

NEWS 02

2021年1月9日に6回目となる英語スピーチコンテストを、23日に3回目の開催となる日本語プレゼンテーションコンテストをオンライン配信で開催しました。両コンテストとも対象言語を母語としない学生を対象とし、日頃の学習成果の発表や、所属を超えた学生同士が切磋琢磨する機会を提供する目的で開催しています。今年度は、新型コロナウイルスや社会課題への解決方法の提言といった難易度の高いテーマにも関わらず、論理的で流暢な英語・日本語の発表が続きました。英語スピーチコンテストは、秋吉杏さん(国際学部国際地域学科1年)が、日本語プレゼンテーションコンテストではバズラチャルヤ ロバートさん(国際観光学部国際観光学科2年)が1位に輝きました。ロバートさんは「発展途上国の教育の再考をテーマに、自分のアイデアが皆様に認められたことを光栄に思います」とコメント。緊急事態宣言の発令を受け、急遽日程と実施方法を変更しての開催となりましたが、オンライン開催によってこれまで以上に多くの方に観覧いただきました。



日本語プレゼンテーションコンテスト1位
バズラチャルヤ ロバートさん

産官学連携で地域の未来を考えるシンポジウム 「Tokyoイーストの“元気”と地域中小企業の挑戦」を開催

NEWS 03

2020年12月17日に、本学と東京東信用金庫共催で東京都後援によるオンライン・シンポジウム「Tokyoイーストの“元気”と地域中小企業の挑戦」を開催しました。当日は、経営学部の山本聡教授(産官学連携推進センター 副センター長)がコーディネーターを務め、地域中小企業の代表取締役などがパネルディスカッションに参加。コロナ禍での事業継続の難しさやその中でも前向きに事業を進める術を語りました。さらに、事前に寄せられた質問に対して丁寧に回答するなど、学生をはじめとする参加者に向けて「挑戦する大切さ」を力強いメッセージとして伝えました。



パネラー

土村 武史 氏(東京都産業労働局商工部 部長)、赤尾 由美 氏(アカオアルミ株式会社 代表取締役会長)、花輪 篤稔 氏(東京彫刻工業株式会社 代表取締役)、西川 喜久 氏(株式会社西川精機製作所 代表取締役)、吉田 秀樹 氏(株式会社スリーエス 代表取締役)

SDGsとボランティアの理解を深める 2020年度 ボランティアウィークを開催

NEWS 04

2020年11月24日～12月15日にかけて、本学ボランティア支援室が「SDGsとボランティアについて考えよう」をテーマに東洋大学・ボランティアウィークを開催しました。期間中には、オンライン講演会やワークショップ、キャンパス内での展示や参加企画が行われ、SDGsとボランティアへの理解を深めました。その一つ「探そう! 大学生にできるSDGs!」では、経済学部4年 安田海太郎さんと学生団体TIPSが白山キャンパス図書館1階入口で企画展を実施。SDGsが目指す17のゴールを説明したパネルの展示と、関連するWebや図書館に所蔵されている書籍の紹介、加えて英語・韓国語の字幕がついた音声ガイドも用意しました。さらに車椅子の方にも見やすいバリアフリー対応で、誰もが参加できる企画展として広くご参加いただきました。

オンライン講演会	
ボランティア入門講座	
東洋大生がワークショップで学ぶSDGs 「今知っておきたい 世界のジェンダー問題と私たちの権利 ～SRHR(性と生殖に関する健康と権利)を知っていますか?～」	
企業における人権への取組	
エイズってなんだろう? ～楽しく正しく学ぶ! 性感染症・エイズ～	
子どもの権利実現のために自分たちにできることを考える ～国連・子どもの権利条約とSDGsの視点から～	
SDGsと子どもの人権	
大地震! どうする? どこへいく?? ～「備え」のための1dayオンラインワークショップ～	
ユニバーサルマナーワークショップ ～〇〇 with Us～	

東洋大学重点研究推進プログラム 2021年度 研究プロジェクトが決定

NEWS 05

本学では、地球レベルの課題解決に貢献し、大学のブランドとなり得る先端的で独創的な研究を推進するプロジェクトへの助成制度「重点研究推進プログラム」を創設しています。2021年度は、8つの重点研究課題のうち⑤に取り組む「バイオミメティクス活用による高機能かつ持続可能なものづくり」と、③と⑤に取り組む「極限環境微生物の先端科学をSDGs達成のために社会実装する研究—Extremophiles×SDGs×Toyo Grand Design 2020-2024—」が、新たに採択されました。研究期間は2021年4月より3年間となります。

重点研究課題

①グローバルな協調を取り戻すための研究 ②IoT、ビッグデータ、人工知能(AI)、データエコノミー、Fintechなど情報通信技術革新を含むデジタルトランスフォーメーション(DX)に関わる研究 ③福祉改革の促進、健康寿命延伸の観点からの医療・健康福祉、食環境、生命科学分野等の先進国をリードする研究 ④産業のイノベーション力の創造的開発と、それを強化する社会システムの革新研究 ⑤SDGsの達成に貢献する研究、または同課題達成に向けたテーマ性を有する研究 ⑥ポストコロナにおける各種教育の高度化に資する研究 ⑦東洋大学の150周年を視野に入れて、大学としての個性化とブランド力を高めるための研究 ⑧上記①～⑦の課題に対処するための哲学・倫理・文化等の人文学研究

<2019・2020年度採択プロジェクト>

研究プロジェクト名	重点研究課題
持続可能なインフラの提案によりグローバルな協調の再構築に貢献する研究—「インフラメニュー」と「経済性・社会性評価アプリケーション」制作—	①・④
開発途上国における生活環境改善による人間の安全保障の実現に関する研究—TOYO SDGs Global 2020-2030-2037—	⑤
22世紀の世界哲学の構築にむけて	⑧
つながりがある社会を支える価値と支援システムに関する研究	③・⑥
多階層的研究によるアスリートサポートから高齢者ヘルスサポート技術への展開—社会実装に向けての研究組織連携の構築—	②

“学生一人ひとりの成長を約束するために” 質保証フォーラムを開催

NEWS 06

2020年12月11日に、教育研究活動および大学運営全般に係る質保証体制の理解を深め合う機会として、本学教職員を対象とした質保証フォーラムを開催しました。

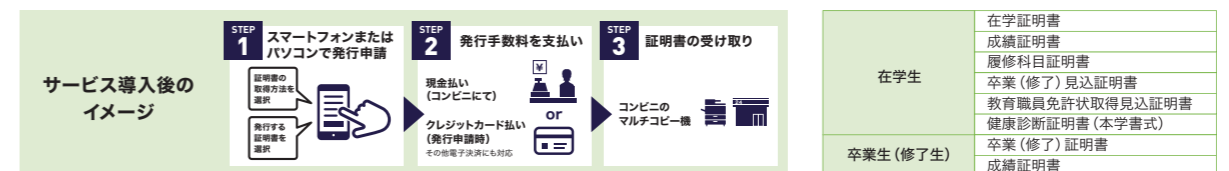
前半の全体会では「東洋大学の歩むべき方向性～学生一人ひとりの成長を約束するために～」と題した矢口悦子学長の講演に始まり、「今後の評価サイクルについて～自己点検・評価、中期計画、その他評価活動との運動性～」を大学評価支援室長が説明。後半は、「学部・研究科」「全学委員会」「大学運営・財務」の3グループに分かれた意見交換会が行われました。教員と職員がともにさまざまな課題を共有する貴重な機会となりました。



4月より証明書のコンビニ発行サービスが開始

NEWS 07

コンビニエンスストアで証明書を取得できるサービスが2021年4月1日より運用を開始します。対象となるのは在学生の6種類、卒業生(2013年3月以降の卒業・修了した方*)の2種類の証明書で、オンラインでの申請後、全国のセブンイレブン、ファミリーマート、ローソンの店舗に設置されているマルチコピー機で取得することができます。



▶詳細や上記以外の証明書の発行については公式Webサイトでご確認ください ※2012年9月以前の卒業生については、申請・支払いのみ利用可能、受け取りは郵送となります。

在学生 <https://www.toyo.ac.jp/s/certificate/> 卒業生 https://www.toyo.ac.jp/s/certificate_alumni/

< 2020年度学位記授与式・卒業式 >

挙行日	2021年3月23日(火)	式場	日本武道館
-----	---------------	----	-------

注意事項



- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い変更となる可能性があります。変更が生じた場合には本学Webサイトにて周知いたしますので、必ず最新情報をご確認ください。
- 卒業生・修了生のみのお入りとなります。
- 個人への学位記・卒業証書等の交付方法は、学部・研究科で異なります。本学Webサイトにて確認してください。
- 当日ご来場できない卒業生・修了生やご父母(保証人)等に向けて、ライブ配信も予定しています。

●日本武道館での式典が午前の部

	対象学部・研究科	開場 (予定)	開式	閉式 (予定)	学位記・卒業証書等交付方法
学部	文、法	9:00	10:00	11:25	発送します
	理工、総合情報				
	ライフデザイン				
	生命科、食環境科				
研究科	理工学、工学、学際・融合科学	9:00	10:00	11:25	発送します
	総合情報学				
	ライフデザイン学、福祉社会デザイン(ヒューマンデザイン専攻)				
	生命科学、食環境科学				
通信教育	文、法				

●日本武道館での式典が午後の部

	対象学部・研究科	開場 (予定)	開式	閉式 (予定)	学位記・卒業証書等交付方法
学部	経済、経営、社会、国際地域、国際、国際観光	13:00	14:00	15:25	発送します
	情報連携				詳細はメールで配信します
研究科	文学、経済学、経営学、法学、社会学、社会福祉学、福祉社会デザイン(社会福祉学専攻、福祉社会システム専攻)、国際学、国際観光学、国際地域学	13:00	14:00	15:25	発送します
	情報連携学				詳細はメールで配信します



東洋 2020年度学位記授与式・卒業式

検索

< 2021年度 奨学金新規採用募集(学部生対象) >

新たに日本学生支援機構の貸与型奨学金や給付型奨学金(修学支援新制度による授業料等減免を含む)の受給を希望する学生は、4月に実施する春新規採用募集へ忘れずに申請してください。詳細は本学情報システムやWebサイト等を通じて3月末ごろにご案内します。本学独自の奨学金等についても同時期にご案内する予定です。

東洋 2021年度奨学金採用募集

検索

< 新型コロナウイルス感染症対策特別奨学金「RIBBON」による生計維持者の失職に対する緊急支援 >

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生計維持者(父/母)が失職したことにより、経済的に困窮している学生の修学継続支援を目的として、奨学金「RIBBON」による緊急支援を実施しています。「RIBBON」は校友会・雨水会(保護者)・役員・教職員をはじめとする皆様からの寄付を原資としています。詳細は本学Webページでご案内しています。

東洋 RIBBON 緊急支援

検索

< 2021年度 定期健康診断の実施について >

定期健康診断は各キャンパスで実施します。詳細は本学情報システムやWebページ等を通じて3月末ごろにご案内しますので各自受診してください。受診しない場合、各種実習への参加や一部科目の履修ができないことがあります。また、健康診断証明書を大学で発行できません。

東洋 2021年度定期健康診断

検索

お問い合わせ先 学生支援課 TEL03-3945-7262

< 2021年度納付金について >

振込用紙発送予定日	2021年4月19日(月) ※到着は2~3日後になる場合があります
-----------	-----------------------------------

<送付先>

学部生(第1部): 保証人住所宛
 学部生(第2部): 入学時に選択した住所宛(本人または保証人)
 留学生・大学院生: 本人住所宛
 ※送付先住所に変更がある場合は、学生本人が「ToyoNet-G」で住所変更手続きを行ってください。

<納入期間>

春学期: 2021年4月20日(火)~5月31日(月)
 秋学期: 2021年10月1日(金)~11月10日(水)

<納付金に関するお問い合わせ先>

●白山キャンパス 経理部財務課 mlgakuhi@toyo.jp
 ●川越キャンパス 川越事務部総務課 mlkawasato@toyo.jp
 ●板倉キャンパス 板倉事務部板倉事務課 mlkeiri@toyo.jp
 ●赤羽台キャンパス 赤羽台事務部赤羽台事務課 ml-iniad-fs@toyo.jp (情報連携学部/情報連携学研究科)
 mlajim@toyo.jp (ライフデザイン学部/ライフデザイン学研究科)

▶詳細はWebサイトにて掲載

東洋大学トップ > 教育 > 学生生活 > 授業・納付金 > 納付金(学費等)

https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/jyugyou/campuslife



< 卒業生向けサービスのご案内 >

刊行物送付について

2019年度より、卒業生に向けた情報誌「Alumni of Toyo University」を年1回発行しています。Alumniでは、本学卒業の著名人や各界で活躍する卒業生を紹介するとともに、関連する商品や施設の情報など多くの特集を掲載していきます。送付先の変更等は、下記お問い合わせ先にあるWebサイトから手続きが可能です。

2021年度(第24回)ホームカミングデーは、2021年10月24日(日)に開催を予定しています。詳細は決定次第Webサイトまたは右記Facebookでお知らせいたします。卒業生の皆様のご参加をお待ちしております。コロナ禍により、実施方法については決定次第、本学Webページ等でお知らせします。

卒業生向けFacebook

Facebook「卒業生ラウンジ 東洋大学 / Alumni Lounge Toyo University」では、大学から卒業生への各種講演会・セミナーなどの情報を発信しています。卒業生同士の交流の場としてもご利用いただけます。

東洋 卒業生ラウンジ

検索



●本学では卒業・修了後にさまざまなサービスを提供していますので、ぜひご利用ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設が利用できない場合がありますので、ご利用に際しては下記のお問い合わせ先までご確認ください。

大学で同窓会を開催できません(事前相談制)

大学で学部・学科・ゼミ・サークルなどの同窓会を開催する場合、会場などを含めご相談ください。

図書館を利用できます

卒業・修了後も図書館の利用が可能です。初回利用時に「図書館利用カード」を発行しますので、卒業(修了)証明書もしくは卒業証書(いずれもコピー可)、身分証(現住所が確認できるもの)をご持参ください。

セミナーハウスを利用できます(事前相談制)

在学生や教職員の利用が無い場合に、利用することができます。事前に卒業生・雨水会連携推進課へご連絡ください。(セミナーハウスでは禁酒となります)

お問い合わせ先 卒業生・雨水会連携推進課 TEL03-3945-7390

*本学Webサイトに、卒業生・修了生向けのページ「卒業生の方」を公開しています。



< 2021年3月末で定年または任期満了となり退職される教員 >

定年または任期満了で退職される教員の方々を紹介します。皆様のご健勝とさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

- 文学部日本文学文化学科 三宅 和子 教授
- 経済学部経済学科 ティモシ ニューフィールズ 教授
- 経済学部経済学科 手塚 洋一 教授
- 経済学部国際経済学科 中北 徹 教授
- 経済学部総合政策学科 小川 芳樹 教授
- 経営学部会計ファイナンス学科 王 学群 教授
- 法学部企業法学科 相川 修 教授
- 法学部企業法学科 坂本 恵三 教授
- 社会学部社会学科 宇都宮 京子 教授
- 社会学部社会文化システム学科 三石 庸子 教授
- 社会学部社会文化システム学科 山本 須美子 教授
- 社会学部社会心理学科 安藤 清志 教授
- 国際学部グローバル・イノベーション学科 サム 田淵 教授
- 国際学部国際地域学科 西川 吉光 教授
- ライフデザイン学部健康スポーツ学科 杉田 記代子 教授
- ライフデザイン学部健康スポーツ学科 鈴木 哲郎 教授
- 理工学部機械工学科 大久保 俊文 教授
- 理工学部建築学科 豊泉 正男 教授

(学部学科・氏名五十音順)